
真実なんだよ by 父親

呉武鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真実なんだよ by 父親

【Nコード】

N2239J

【作者名】

呉武鈴

【あらすじ】

18回目の誕生日に父から伝えられた真実は…

サンタクロース…それはたった一夜に起きる奇跡の象徴。子供に夢を与え続ける赤い服を纏った白髭のおじいさん。彼はトナカイに繋いだソリで夢を与えるために世界中を飛びまわる。

そんな存在だと私は信じてた―いやまあ、実在するとは思ってないけど…誕生日―12/30までは

「娘よ、大丈夫な話があるんだ」

そう切り出した父は私の返事も待たずに車庫に向かって歩き出す。仕方なくついていくがその間父は一言も喋らない。

そして車庫に着いた。

「今まで黙ってたんだが…お前ももう18歳だ。真実を教えてあげよう」

そういつて置いてある箱からなにやら取り出すとそれを見せながら言った。

「実は父さんはサンタクロースなんだ」

それはピチツとした真っ黒の服―いわゆる全身タイツだった。

「…お父さん」

…掛り付けの精神科医つていたかな。

「さて、そんな『仕事の疲れが出て頭がおかしくなっちゃったのかな…これはもうダメだ』みたいな目で俺を見るな」

いや、みたいな目じゃなくてその通りなんだけど。

「確かに突拍子もないかもしれない。だがこれは真実だ」
嫌な真実だ。

「でも仮に真実だとしてもなんでそんなことを私に話すの？」

「それはお前が18歳になったからだ」

「…全く話が見えないんだけど」

「サンタクロースには『自身の子供が18回目の誕生日を迎えたら真実を話し、仕事を受け継がせるべし』という決まりがあつてなるほど、だから話したのか。」

「仮にそれが本当だとしてら私に拒否権は？」

「あるわけない」

即答かよ。

「そんなわけで来年から頼んだ」

「イヤよ」

「そうかひきうけてくーナニイ!？」

「今の会話の流れからわかるでしょ。私はそんな世迷い事に付き合う気はないのよ」

「バカなツ!？世界中の子供達から尊敬される仕事だぞ!？たった一夜、酷使されるだけの最高の仕事だぞ!？それを何故そうも簡単に断れるんだ!？」

「何だろうとイヤよ。そんな妄言に付き合わされるなんて。第一、私はまだお父さんの頭を心配してるのよ」

「なら証拠をみせてやる!？ついてこい!」

そういつて今度は庭に向かって歩き出した。

.....

「ついてこいよ!」

そして帰ってきた。

「え〜」

「だから『早く医者に運ばないとともに生活することも出来なくなるんじゃないかしら...』そうなったらさっさと殺して保険金を家に入れようかな』みたいな目で俺を見るな」

... お父さんって超能力者なのかな？

「これを見れば絶対認めるから、パパについてきなさい!」

…そろそろ本当に医者に連れていったほうがいいかしら。

そんなことを考えながらついて行くと今度は大きな何かに布が被せてあった。

「これがしょうこだ!!」

そういつてかかっていた布を外した。

…どうしよう、もう間に合わないかな？

「どーだ、しんじただろ」

そこにはサイドカーのついたバイクが一つあった。

「おかーさん、ちよつと黄色の救急車呼んで」

遠くから「わかった」と母の返事が聞こえたので安心して父を見据える。

「これは？」

「世界中を飛び回るために必要なモノだ」

私が質問してくれたのがそんなに嬉しかったのか、言葉が戻ってる。

「コイツがあれば何処にだっていけるぞ！」

「国内なら？」

「世界中だ！」

…どうしよう、そろそろ本格的にうざくなってきた。

「どうだっ、これで信じただろ!？」

私はそんな父に歩みより

「『ゴメン』なんて思わないから!!」

思い切り顎を強打した。

その後も父は虚偽妄言を吐き続けたのはまた別の話。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2239j/>

真実なんだよ by 父親

2010年11月16日11時25分発行